

2021年8月13日

各位

会社名 MITホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 浩  
(コード：4016、東証JASDAQ)  
問合せ先 取締役経営推進センター長 三方 英治  
(TEL. 043-239-7252)

## 当社連結子会社のオフィス移転に伴う特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年11月期第3四半期において、下記のとおり特別損失を計上することとなりました。これに伴い、2021年1月13日に公表した通期業績予想も修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 特別損失の発生及びその内容

当社連結子会社である株式会社システムイオの業容拡大と新たなワークスタイルオフィスの導入を目的として、2021年12月に東京本社の移転を行う予定であり、これに伴い現東京本社の固定資産未償却残高の減損損失及び、資産除去費用の追加計上額の合計17百万円を2021年11月期第3四半期において特別損失に計上する見込みであります。

### 2. 連結業績予想の修正について

(1)2021年11月期連結業績予想数値(2020年12月1日～2021年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	4,150	144	140	87	43.15
今回修正予想(B)	4,150	144	140	76	37.12
増減額(B-A)	0	0	0	△11	△6.03
増減率(%)	—	—	—	△12.6	△14.0
(ご参考)前期実績 (2020年11月期)	3,851	135	136	79	45.76

### (2)修正の理由

当社連結子会社である株式会社システムイオ東京本社の移転につきましては、2022年11月期以降の計画でありましたが、今後の業容拡大と人員増加計画に対応し、新たなワークスタイルオフィスの導入による従業員間コミュニケーションの活性化を推進するため、当初予定より前倒しでのオフィス移転を決定いたしました。これに伴い、現東京本社の固定資産未償却残高及び原状回復費が確定したことによる資産除去費用の追加計上額を2021年11月期第3四半期において特別損失に計上する見込みとなったため、上記のとおり連結業績予想を修正いたします。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上